

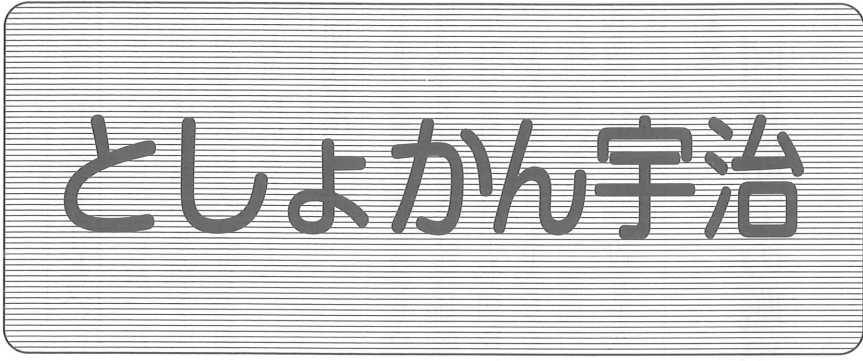
No. 68

2015 年 11 月 25 日 発行

宇治市中央図書館  
〒611-0023 宇治市折居台 1-1  
0774 (39) 9256

宇治市東宇治図書館  
〒611-0011 宇治市五ヶ庄三番割 36-5  
0774 (39) 9182

宇治市西宇治図書館  
〒611-0042 宇治市小倉町山際 63-1  
西小倉地域福祉センター 3 階  
0774 (39) 9226



図書館ホームページ <http://library.city.uji.kyoto.jp/> (携帯電話 <http://library.city.uji.kyoto.jp/i/>)

### 図書館のサービス

図書館は、本の貸出・返却だけではなく、その他の様々なサービスを行っています。今回はそれらのサービスをご紹介します。(数字は、特記のない限り3館合計の数字です。)

#### 予約サービス

貸出中の図書等及び他館の図書等の予約サービスを行っています。窓口・電話・インターネット等で予約された図書等について、用意が整い次第、利用者の方に連絡の上、貸出をしています。平成二六年度は、約九万七千件(うちネット約五万件)の予約の受付をしました。

#### 図書リクエストサービス

所蔵のない図書のリクエストにお応えしています。雑誌・コミック・高額な専門書などお応えできないものもあります。が、図書を新しく購入して提供します。

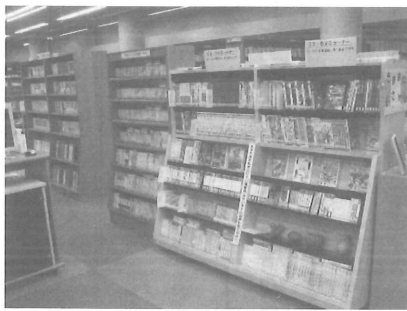
#### 相互協力サービス

所蔵のない図書のリクエストにお応えしています。

絶版などの理由で購入ができない場合は、京都府内または全国の公立図書館に照会を行い、自治体をまたいで当該図書をお借りし、利用者の方に貸出を行います。平成二六年度は、全国50か所の図書館と約4,200冊の貸借を行いました。

#### 視聴覚資料貸出サービス

利用者の方からの要望の多かった、CD、DVDの貸出を本年10月より行っています。来年3月までの試行期間は、貸出をおひとりCD・DVD、各1点まで、予約を各1点までとしています。



CD・DVDコーナー

#### 予約図書配本サービス

本市の3館の図書館から遠い利用者の方の利便を図るため、週1回市内5か所(木幡公民館・槇島

コミュニティセンター・南宇治コミュニティセンター・開地域福祉センター・京都文教大学図書館)の各施設を連絡車が巡回し、予約を受けた図書の配本・返却本の回収を行っています。平成二六年度は、のべ五千人を超える利用があり、約一万二千五百冊の貸出を行いました。

#### 障害者サービス

点字図書、カセットブック、大活字本等を約二千三百点揃える他、デイジー図書約百点を京都ライトハウスより借用して提供しています。また、視覚障害者のため、「声の図書館だより」の作成・発送を行っています。さらに、中央図書館内に対面朗読室を設置しています。

#### 読書通帳の配布

子どもの読書活動を推進するため、小学生以下の子どもたち



に読書通帳を配布しています。三十冊を読み終えるごとに手作りのスタンプを押印し、新しい通

帳を渡します。

### レファレンスサービス

知りたいことがあるが、どんな本を見ればよいかわからないなど、利用者の相談に応じ、調べもののお手伝いをします。

### 団体貸出

児童の読書普及活動を進めている地域・家庭文庫、笠取地区、青少年センターの計十七団体に對し、年2回児童書を中心とする貸出を行っています。

平成二六年度は、約五千八百冊

の貸出を行いました。

### 学校団体貸出

学校との連携を深め、学校図書館の運営を支援するため、学校への圖書の貸出を行っています。

貸出は、一校あたり百冊とし、期間は一か月までとしています。

### 図書展示・各種行事

各図書館では、それぞれ年十回を超える図書テーマ展示を行いました。

また、月一回、職員及びボランティア団体による、子どもを対象

としたお話し会を行っています。

平成二六年度は、児童を対象とした工作教室などの夏休み行事やクリスマス会などを行いました。

成人向けには、講師を招いての講演会や朗読会を行いました。

### その他のサービス

健康長寿部と連携し、月一回はじめての絵本ふれあい事業「ブックスタート」を行っています。

また、資源の有効活用のため市民に図書等を提供するリサイクル市を開催しました。(平成二六年度は、約六千冊を提供)

### 寄稿

## 図書館での職場体験学習を実施して

西小倉中学校 教諭 武田 義博

西小倉中学校では、6月16日、17日の2日間の日程で、職場体験学習を実施しました。職場体験学習は、働く体験を通して、その

苦労や意義について学び、生徒たちが自らの将来について主体的に考える力を育てることを目的に実施しています。

西宇治図書館には2名の生徒がお世話になり、カウンターでの本の

貸し出しや、本棚への本の返却、お話の会(子どもへの読み聞かせ)の補助等、貴重な体験をさせていただきました。

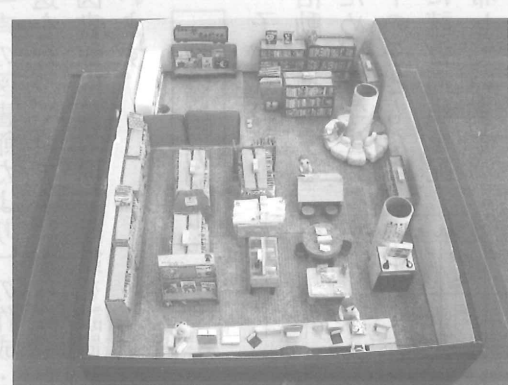
生徒たちは、最初は簡単だと感じていた図書館の仕事も、実際に体験させていただく中で、目の疲労があつたり、体力を使つたり、想像以上に忙しく感じたようでした。また、市民のために働く公務員とし

ての責任の重さも感じた様子でした。生徒の感想を紹介します。

『体験を通して特に思い出に残ったのはカウンターの仕事です。理由は2つあります。1つ目は、小学生の頃からやりたかったカウンターの仕事ができただけです。2つ目は、利用者の方が「頑張つて下さい」などの励ましの言葉をかけて下さったことがとてもうれしかったからです。私は普段、お店の人にお礼を言っていないので、しかし、一言だけでも声をかけると良い気持ちになるので、次からは、お世話になっている人へ積極的に声

### 工作「夏の中央図書館」

大開小学校3年 安木心羽さん 制作



をかけようと思いました。』

生徒たちは、図書館で出会った方々と触れ合う中で、人とのつながりや、温かな気持ちを感じ取った様子でした。



職場体験学習

# 図書館へようこそ 第53回 インタビュー

ゆきののちゃん  
本間志乃  
ちさと  
本間知怜  
ちゃん

今回は、東宇治図書館をよく利用されている 本間志乃(ゆきのの)ちゃん(5歳)と知怜(ちさと)ちゃん(3歳)とおかあさまにお話を伺いました。

(図書館) (以下 図) ..

いつごろから、図書館にお越しいただいていますか。

(おかあさん) (以下 母) ..

宇治市にきて、ゆきのが2歳半、ちさとが1か月のころからです。

図:どのくらいご利用いただけますか。

(ゆきのちゃん) (以下 ゆ) ..

月に3回から4回くらいかな。

図:どんな本をよく読んでいますか?

ゆ:「ぐりとぐら」

(ちさとちゃん)

「わたしのおべんとう」

母:「グルトンさんシリーズの歌を作ってよく歌ってます。」

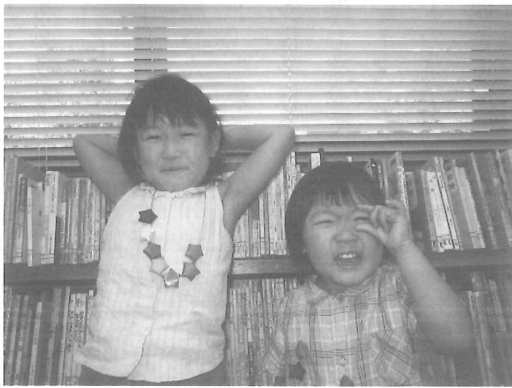
図:お話し会や、クリスマス会にもよくきていただいていますね。

ゆ:うん。

図:本を予約されることはありませんか。

母:絵本の後ろのページを見て予約します。(ゆきのちゃんは) OPAC (利用者用端末) を見て、他館から取り寄せてもらうチェックをしています。

図:インターネットの予約は自宅からも予約できるので便利です。



ゆきのちゃん(左) とちさとちゃん(右)

ところでおうちではどんな遊びをされていますか。

母:図書館ごっこにはまってます。まず、本選びから始めて、貸出手続きするところは口で「ピッ!」と言って、返却期限をハンコで押したスリット(しおり)を本に挟んで渡すところまでやってます。

図:わあ、よく見ていただいているんですね。それは、私たち図書館で働くものにとっても嬉しいことです。ほかに印象に残っている絵本などはありますか。

ゆ:「ぐりとぐら」

母:あと、長谷川義史さんの作品や中川ひろたかさんの作の「ピーマン村」シリーズが好きですね。

図:これからどんな本をよんでみたいですか?

ゆ:大きくなったら、びょうしきになりたいので、びょうしき

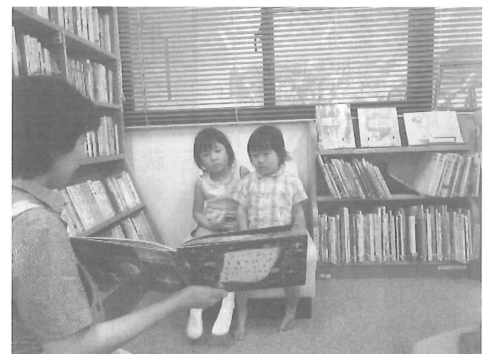
の本がみたいです。

図:すてきな夢があるのね。今後図書館利用についてどういった希望がありますか。

ゆ:「ぐりとぐら」のシリーズが全部よみたいです。

図:本当に「ぐりとぐら」が好きなんです。

これからも、どんどん本を読んでいってくださいね。ありがとうございました。



読み聞かせの様子



●中央図書館には、ティーンズコーナーを設置しています。



### 桑原秀樹監修 お抹茶のすべて

宇治と言えば抹茶。かき氷の抹茶と小豆餡がけを「宇治金時」と呼ぶように、宇治は抹茶の代名詞でもある。ちなみに、「金時」は小豆の赤い色から。「鉞（まさかり）かついだ金太郎」は赤ら顔。彼が成長し大人になった時の名が坂田金時。そこから小豆餡が金時と呼ばれるようになった、とのこと。

抹茶の原料は碾茶。これを石臼で挽くと抹茶が出来る。かつては葎や藁、今では寒冷紗という化学繊維により、適度に日光がさえぎられたおだやかな環境のなかで新芽が育まれる。それを摘み、製茶工場ですべて加工されて碾茶になる。

ひと昔、いやふた昔ほど前まで、抹茶を使ったスイーツは、宇治金時に抹茶ソフトクリームぐらいではなかったか。さらに

その前は、グリーンティーや、和菓子のあしらいに使われる程度。ところが、今やデパートの地下食料品売り場に行けば、お茶屋さんのもとより和菓子に洋菓子、総菜にいたるまで、まさに多種多様な抹茶色の品々が目を楽しませてくれる。五月の新茶シーズンともなると、スーパーの菓子売り場の一角に各社が競って開発した抹茶関連商品が山積みとなり、抹茶色に染まる。ただ、これだけ増えるといささか食傷気味になるぐらいだ。

碾茶を挽くと抹茶になる、のは先に見たとおり。『お抹茶のすべて』によると、碾茶の生産量をはるかに上回る量の抹茶が生産され出回るといふ、不思議な現象が起きているらしい。そしてこの現象が、大量の抹茶製品の登場をささえている、ということだ。

本書には、こうした私たちが知らない抹茶に関するエピソードが満載である。もちろん、実際に抹茶が出来るまでの栽培や工程、歴史についてもわかりやす



『お抹茶のすべて』

く紹介してくれる。抹茶を使ったドリンクにお菓子のレシピ、お茶屋さん業界の実際まで、本当に盛りだくさんの内容だ。

さらに詳しく知りたい方には、同じ著者による『抹茶の研究』がおすすすめ。こちらは第二回紫式部市民文化賞受賞作品。

ただ今、歴史資料館ではお茶の歴史を概観する特別展『宇治茶 トップブランドの成立と展開』を開催中（十一月二十二日まで）。（れきし・こじま）

### ティーンズコーナー開設

中央図書館では、中・高校生が改めて本の面白さ奥深さに触れ、児童書から成人書へとスムーズに移行できるように、10月1日（木）からティーンズコーナーを開設しました。

ティーンズコーナーには、主人公がティーンエイジャーである作品を中心に、将来の職業を考えるための資料「なるにはボックス」、現代社会を生きる若者に向けた、「岩波ジュニア新書」や「ちくまプリマーブックス」など、約1000冊を配架しています。

### 利用案内

市内に在住、または市内に通勤・通学されている方は、貸出券を作ることができます。一人十人三週間まで図書等が借りられます。貸出券は全館共通です。図書館で借りた図書等は市内のどの図書館でも返却することができます。

図書館は九時から十七時まで開館しています。休館日は毎週月曜日、第四木曜日（いずれも祝日の場合は翌日）、祝日の翌日（土・日曜日の場合は平日に振替）、年末年始、蔵書点検期間です。

### あとかき

今年十月より、要望の多かったCD・DVDの貸出を開始しました。また、これまでご利用の少なかった青少年のためのティーンズコーナーを設置しました。展示も数多く実施しています。図書館は、利用者の方のご期待に応えるよう、今後とも努めていきたいと考えています。